



# 大雨・洪水災害

## 集中豪雨・局地的大雨の危険性

集中豪雨や局地的な大雨はダムや河川の水位を上昇させ、また、下水の排水能力を超えることではん濇を招く恐れがあります。はん濇以外にも、長時間の雨によって地盤が緩くなり土砂災害が発生する可能性も高くなります。集中豪雨や局地的な大雨が発生した場合は、大雨の際の危険性を十分に理解して危険な場所へは近づかないようにするとともに、警報等が発表された場合は自らの命を守るために適切な避難行動をとるように心がけてください。



## 雨の降り方と様子

雨量	1時間に10～20mm やや強い雨	1時間に20～30mm 強い雨	1時間に30～50mm 激しい雨	1時間に50～80mm 非常に激しい雨	1時間に80mm以上 猛烈な雨
人が受けるイメージ等	 ザーザーと降り、雨の音で話し声がよく聞き取れない。	 どしゃ降り、傘をさしていても濡れる。	 バケツをひっくり返したように降る。	 滝の様に降り、傘は全く役に立たなくなる。	 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
外の様子	地面一面に水たまりができる。	車のワイパーを早くしても見づらい。	道路が川の様になり、車はブレーキが効かなくなる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。	
災害発生状況	 この程度の雨でも長く続くとときは注意が必要。	 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模なげ崩れが始まる。	 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。市街地では、下水管から雨水が溢れる。	 マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	 雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

## 洪水発生メカニズム

### ■外水はん濇

堤防いっぱいになると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して家などに襲いかかる。



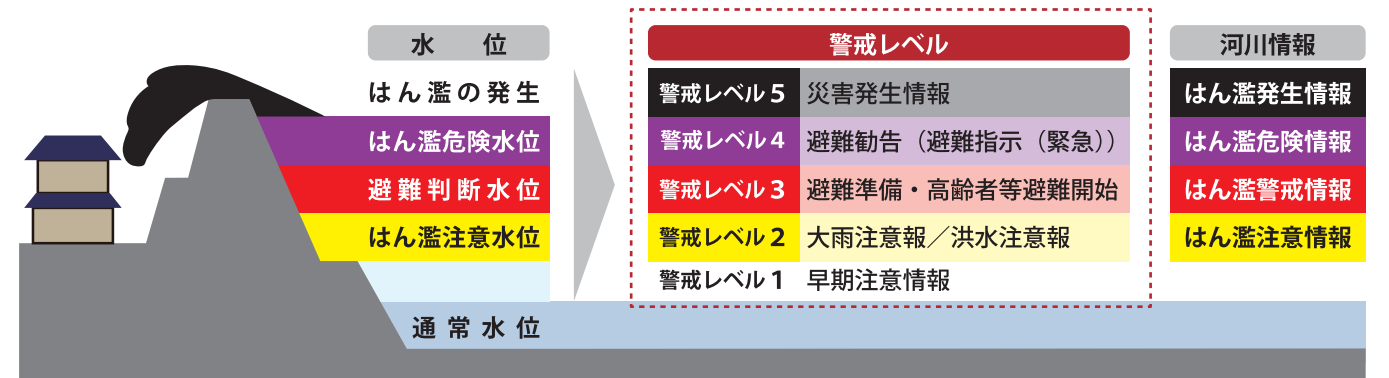
### ■内水はん濇

大雨が降ると川の水位が上がって排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまう。



→P 47に「内水はん濇危険箇所」について詳しく説明しています。

## 洪水に関する災害情報の種類



## 大雨・洪水災害のときの避難の注意点！

### 1 避難の心得

- 無理せず近くの建物へ！
- 緊急時は屋内の2階以上へ一時避難！
- 単独行動はせず、2人以上で避難！
- 要配慮者の避難を支援！
- はん濇水は茶色く濁っているため、深さと速さに注意！
- 足元の段差や側溝、マンホールにも注意！
- 安全で動きやすい服装で避難！

### 2 危険な場所には近づかない

- 河川の近く
- 地下
- アンダーパス